

JFE 商事株式会社

バイオマス燃料調達方針

合法性・持続可能性に対するコミットメントとして、マルチステークホルダー方針、JFE グループ人権方針、環境方針のほか、JFE 商事の「バイオマス燃料調達方針」を以下の通り定める。

適用範囲

本方針は J F E 商事が直接または間接的に関わるバイオマス燃料の調達において適用されます。J F E 商事のグループ各社や取引先・サプライヤーにもこの方針の趣旨を理解いただき、協働しながら実践を進めていきます。

基本方針

ステークホルダーとの協働

- バイオマス燃料のサプライチェーンに関与するステークホルダー（生産者、輸送業者、認証機関、NGO、行政機関など）との対話を積極的に行い、課題やリスクを特定・共有します。
- 経済産業省や林野庁など関連省庁の議論動向や国際的な認証制度の改定・発展などを常に注視し、最新の情報や要請を適切に反映します。

社会的責任の重視

- バイオマス燃料の生産地における地域コミュニティや労働者の権利を尊重し、サプライヤーとの協働を通じて、適正な労働条件・安全衛生・地域の発展に配慮します。
- 原料生産地域の文化・慣習を尊重し、地域との協調を図ることで、共存共栄を目指します。

法令・規制の遵守

- 国内外の関連法令や規制、国際的に認知されたガイドラインを遵守します。
- 違法伐採や人権侵害などのコンプライアンスリスクを低減するため、調達先との連携や監査など適切な管理体制を構築します。

持続可能な資源利用

- FSC や PEFC など国際的に認知された森林認証や適切な由来証明の取得・確認を推奨し、バイオマス燃料の生産過程における森林保全や生態系保護に配慮します。
- 伐採地や生産地における労働環境、地域社会への影響を配慮しつつ、責任あ

るサプライチェーンを構築することを目指します。

- 水資源や土壌への影響など、バイオマス燃料の原料生産過程の環境負荷低減に取り組んでいるサプライヤーからの調達を目指します。

トレーサビリティの確保

- バイオマス燃料の原料由来を明確にし、生産から調達・輸送に至る経路を可能な限り把握します。

トレーサビリティの向上により、違法伐採や環境破壊、社会的リスクの早期把握と適切なリスク管理を行います。

2025年6月2日
JFE 商事株式会社
バイオマス燃料部